

医務室だより 12月



早いもので、もう師走ですね。この1年どうでしたか。朝晩かなり冷え込む日も増えて、いよいよ冬本番です。インフルエンザが警報レベル(60.83人/定点)の流行です。予防対策を心がけましょう。12月1日は世界エイズデーです。早期発見・治療の継続によりエイズ発症を防ぐことができます。一方で若者層の性感染症は増加傾向です。あなたの行動で性感染症を予防しましょう。



世界エイズデー 12月1日

「U=U 検出されない＝性感染しない」

HIV感染後、早期の治療開始によりエイズの発症を防ぎ、血液中のHIV量が検査で検出できない程度に最低6か月以上抑えられているHIV陽性者からは、性行為によってHIVが感染しないと確認されています

そもそも、HIVとエイズってなに？

「AIDS(エイズ)」とは「HIV」というウイルスに感染して免疫力が低下し、様々な病気を発症した状態です。

1. HIV感染

無症または数週間以内に発熱・赤い発疹・筋肉痛等インフルエンザに似た症状

2. 無症候期

(数年～10年)
・自覚症状なし
・体内で免疫力低下

3. エイズ発症

日和見感染症など指標疾患発症

☆感染経路と予防対策

・性的接触感染 84.6%

HIVは主に血液や精液・膣分泌液に含まれており性行為中に性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通して感染する

・血液を介して感染

・母子感染

→ **コンドームの正しい使用**

→ ×注射器具の共有

→ 妊娠中の適切な治療

日頃から厚生センター・富山市保健所ではエイズに関する相談やHIV検査を実施しています。世界エイズデー(12月1日)前後は、富山市保健所、中部厚生センター、砺波厚生センターにおいて、平日夜間・休日検査(原則匿名・無料)を実施します。

(HIV: ヒト免疫不全ウイルス AIDS: 後天性免疫不全症候群)

若い世代で性感染症増加！

“気づいてない”かもしれない。それが性感染症

性感染症は、性的接触があれば、誰でも感染する可能性があります。口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。また、オーラルセックスやアナルセックスなどでも感染します。

☆ 性器クラミジア感染症

- ・日本で最も感染者が多い
 - ・感染率は性行為1回で約30%
- 症状**
- ・男性: 排尿痛、うみやかゆみ、精巣が腫れて発熱、のど違和感
 - ・女性: おりもの増加、腹部の痛み

話し合えますか？



☆ 梅毒 — ばいどく —

- ・患者数年々増加
男女比は2:1 男性30代 女性20代が最も多い
- ・感染率 15～30%
症状が消えても感染力のこる
感染力が強くキスでも感染する
- ・初期症状は軽度のしこりやただれ
かゆみや痛みのない発疹が手のひらや足の裏に広がるが自然に消えるため気づきにくい
進行すると心臓や神経に障害を及ぼすが、早期治療で完治可能

予防対策

☆ 検査を受けよう

不安に感じたら、すぐにパートナーと検査を受けましょう

☆ コンドームを使おう

コンドームの使用で多くの感染症リスクを下げられます

☆ 治療を受けよう

性感染症は適切に治療することで他の人への感染も防ぐことにつながります。早期発見・早期治療がとても重要です

【参考文献】 【医師監修】若い世代に急増する性感染症とは？実態と予防法を徹底解説 | 性病検査 (大阪)

| 性病ドットコム | エイズQ&A - HIV/エイズの知識 | API-Net エイズ予防情報ネット

12月1日は「世界エイズデー」 | 厚生労働省 <https://helico.life/monthly/240102sexeducation-disease/>